

### 生活相談

毎週金曜 午前10:00~12:00  
三郷市役所 6階・市議会  
日本共産党控室

# 日本共産党三郷市議団 議会報告ニュース

2024年 4・5月号  
3月 議会報告

日本共産党三郷市議団  
三郷市役所 6階(市議会控室)  
TEL (953) 1111

### 2024年度 予算

## 水道、国保税、介護保険料 相次ぐ値上げへ

今年度の予算総額は、過去最高の580億5千万円を計上し、17年連続の増額となりました。岸田政権が「総合経済対策」の目玉として打ち出した定額減税ですが、本市では、個人市民税が前年度を3.7%も下回りました。減収分は、公費の全額で賄うこととしておりますが、影響額に見合った補填額に至っていない上、定額減税しきれないと見込まれる方の給付は、夏以降の先送りとなります。

このような一度きりの定額減税や給付金では、コロナ禍に追い討ちをかけた物価高騰で、幾重にも苦しむ市民生活の立て直しには見合っておりません。子ども未来戦略に取り組むとして、子ども、子育て施策に関わる事業予算が増額となりましたが、これらの財源は「子ども子育て支援金制度」として2026年度から全ての世代が加入する医療保険の保険料と合わせて徴収するもので、大きな負担となります。

一方、高齢者や障がい者などの福祉分野における公費負担の節減が本市の予算配分にも影響しました。市民が求める、高すぎる国民健康保険税の値下げ、学校給食費の無償化や補聴器購入補助制度などに足を踏み出すべきです。ところが、この年度は、国民健康保険税・介護保険料の値上げに加え、水道料金の値上げも実施されます。トリプル負担増に、高齢者だけでなく、子育て世帯にもおよび、市民の暮らしはますます厳しくなることは火を見るよりも明らかです。

本市が、地方自治法の本旨に立ち返り、国の悪政から市民を守る防波堤として、市民の命と暮らし最優先の施策に取り組まれることを強く求めました。

所得割は、10・40% ↓  
11・10%、均等割は46000円 ↓ 49500円、賦課限度額は99万円 ↓ 102万円となります。全加入者世帯の保険料が約3%から7%の増額となります。

市議団は、低所得者が多く加入する国民健康保険の財源は国からの財政支援なくして成り立たない、一般会計からの繰り入れを行い、国保税の引き上げを中止するとともに、全国市長会が要望している約1兆円の公費増額を国・県に強く求めるよう要望しました。また多くの県民が「市町村の一般会計からの財政支援を廃止するべきではない」という声に応え、更なる値上げ計画を中止するよう求めました。

国民健康保険税  
**全世帯が値上げ**  
総額約2億1700万円の負担増！

### <モデルケース>



**単身世帯**  
(年金収入153万円) では、10,800円から11,400円/年額

**3人世帯**  
(夫、妻、未就学児収入700万円) では、596,000円から635,900円/年額

## 住民要望が実現

- トイレトレーラーを1台購入
- 特定健康診査の自己負担が無料に
- いじめ等の諸問題解決にスクールロイヤー(弁護士)を配置
- 子育て移動支援  
「妊婦の方などへ1万円分の利用券などを支給」
- 子育て世帯訪問支援  
(家事・育児支援などのヘルパー派遣)
- 排水ポンプ場の設置(彦系1丁目)



移動式仮設トイレトレーラー

## 後期高齢者 医療保険も値上げに

2年ごとに見直しが行われる保険料が今年度改定します。賦課限度額も66万円から80万円に(2024年度は激変緩和措置を実施し73万円) 市議団は、年金収入は実質的に目減りし、生活に苦しむ高齢者へのさらなる負担となることから反対。基金102億円を活用して保険料を引き下げるべきです。

| 区分                  | 2022・23年度 | 2024・25年度 |           |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|
|                     |           | 改定        | 22・23年度比  |
| 均等割額                | 44,170円   | 45,930円   | +1,760円   |
| 所得割率                | 8.38%     | 9.03%     | +0.65ポイント |
| 1人あたりの平均保険料(三郷市の場合) | 81,051円   | 84,308円   | +3,257円   |

### 基準月額

5,780円 → 6,300円に

介護保険制度は今年度で24年目を迎え、2024年度から2026年度の65歳以上(第1号被保険者)の保険料が提案されました。基準額はこれまでの月額5,780円(第5段階)から6,300円に引き上げられ、所得の段階は11段階から15段階になります。

市議団は、高齢者に重い負担となる介護保険料の引き上げに反対し、一般会計からの繰り入れなどの財政支援で、保険料の引き下げを行うよう求めました。

## 第9期の介護保険料 高齢者に大きな負担

# 日本共産党 三郷市議団の(一)般(質)問

## 学校給食の無償化を求める請願

請願に対する各議員の賛否

ネットワーク：ネットワークみらい

○：賛成 ●：反対

| 政 志 会 | ワ ネット | 公明党 |    |    |     |    | 21世紀クラブ |    |    |    |    | 新 政 会 |    |     |    |    | 日 本 共 産 党 |    | 会 派 名 | 議 員 名 | 賛 否 |     |    |    |
|-------|-------|-----|----|----|-----|----|---------|----|----|----|----|-------|----|-----|----|----|-----------|----|-------|-------|-----|-----|----|----|
|       |       | 佐藤  | 市川 | 西村 | 鳴海  | 酒巻 | 鈴木      | 岡庭 | 加藤 | 柳瀬 | 渡邊 | 一色    | 菊名 | 佐々木 | 田上 | 宇治 | 篠田        | 齊藤 |       |       |     | 寺沢  | 篠田 | 武居 |
| 佐藤    | 市川    | 西村  | 鳴海 | 酒巻 | 鈴木  | 岡庭 | 加藤      | 柳瀬 | 渡邊 | 一色 | 菊名 | 佐々木   | 田上 | 宇治  | 篠田 | 齊藤 | 寺沢        | 篠田 | 武居    | 佐藤    | 深川  | 工藤  |    |    |
| 裕之    | 文雄    | 睦郎  | 和美 | 宗一 | 深太郎 | 明  | 英泉      | 勝彦 | 雅人 | 雄生 | 裕  | 修     | 広子 | 紀子  | 隆彦 | 幹郎 | 美紗        | 正巳 | 弘治    | 智仁    | 智加  | 智加子 |    |    |
| ●     | ●     | ●   | ●  | ●  | ●   | ○  | ○       | ○  | ○  | ○  | ○  | ●     | ●  | ●   | ●  | ●  | ●         | ●  | ●     | ○     | ○   | ○   |    |    |

### 学校給食の無償化を 求める請願否決

新政会・公明党などが反対

三郷市議会に「学校給食の無償化を求める請願」が提出されました。請願は「新日本婦人の会三郷支部」が提出、5157筆の署名が添えられました。紹介では「限りある予算は平均

三郷市議会に「学校給食の無償化を求める請願」が提出されました。請願は「新日本婦人の会三郷支部」が提出、5157筆の署名が添えられました。紹介では「限りある予算は平均

等な使い方をするべき」と、国が実施すべき「どの反対意見がありました。また「子どもたちを大切にしよう」という思いであることから、しつかりと議論をしていく必要がある。「段階的な運用は十分」として、可能な範囲で実施する

どの賛成意見がありましたが、賛成2人、反対3人となり不採択となりました。本会議では三郷市議団は、物価高騰で苦心している子育て世代の切実な願いである学校給食の無償化を行うよう求める立場から、各議員へ賛同を呼びかけ請願に賛成しました。しかし新政会、公明党などの14人の議員が反対し、請願は不採択となりました。

## スマートインターチェンジ 周辺のまちづくりについて



深川 ともか  
TEL 070-2209-7907

本市は第5次三郷市総合計画の将来都市像にある、企業呼び込み型の「人にも企業にも選ばれるまち」を推進し、三郷料金所スマートインターチェンジ(スマートIC)周辺地区の土地開発を進める議論が開始されています。市に計画について質問をしました。

答弁によると、基本構想で示した調査対象区域はスマートIC周辺の後谷、小谷堀、前間地区(約40ヘクタール)としています。

また方針は①産業系土地利用の誘導②産業系と住居系土地利用の計画的配置による市街地の形成③地区内外の住民間の交流や居住環境の向上に資する空間の形成とし、土地区画整理事業

での実施の可能性を検討するとしています。

さらに深川議員は物流などの産業系土地利用の誘導により、県道三郷松伏線を通る大型車両の増加が懸念されるとし、市の考えを問いました。

市は道路ネットワークの充実などにより、周辺道路への負担が軽減されるよう関係機関との協議調整に努めていくと答弁しました。

物流施設が立ち並ぶような、まちづくりは今一度立ち止まり、慎重な検討を要望しました。

その他の質問では「ボール遊びの出来る公園・広場の整備」、「就学援助制度の拡充」などを求めました。

病になりやすい。②歯やあごに不自然なストレスや力がかかりやすい。③歯の欠損や摩擦などが起こりやすい。④食べものが噛みにくい。などから、顎関節症などの病気の原因になっている。

日本の貧困世帯の数は、世界の貧困率調査(OECDが2021年公表)によると、先進国の相対的貧困率ランキングで日本は11位という不名誉な結果が出ており、貧困世帯に影響が多く散見できると

『全日本民主医療機関連合会』の調べで明らかになっている。

口腔内のケアは、お金の有無に関わらず誰もが健康であることが好ましいことではないか?負担軽減について、どのような?いきいき健康部長何う。

答弁、現行制度のままご利用いただければと考えている。

その他、物価高騰対策、衛生管理問題など。

## 福祉避難所の強化とT・K・Bの充実で 災害関連死を防ぐ取り組みを



工藤 ちか子  
TEL (FAX) 958-8821

能登半島地震では、施設が損壊、職員も避難をせまられ、要配慮者の受け入れが困難な事態になりました。有識者からは、一般の避難所の福祉機能を強化し、広域的な連携支援体制を平時から整備する重要性が指摘されています。

また、T(トイレ)K(キッチン・暖かい食事)B(足を伸ばして寝られる環境)が関連死を防ぐ備蓄品として不可欠と指摘、発災時から48時間以内に避難所に整える必要があります。

工藤議員は、たとえばトイレの設置については、国際的な「スフィア基準」があり、

基準に見合った備品が48時間以内に整備されるのか?質問しました。

福祉避難所については、県や民間の福祉施設等との協定による施設確保に向けた調整や介助者の人材確保に向けた協議を進める。またトイレは自動ラップ式トイレ、トイレトレーラーの購入で感染症などの蔓延を防ぎ、エコノミー症候群対策に有効な備蓄品等の整備に務めると答弁しました。

その他 住宅問題、生活保護しおりの充実、DX計画など質問。

## 歯の矯正代への 負担軽減を



佐藤 ともひと  
TEL 080-6851-1606

近年、歯並びの重要性があらためて認識されるようになってきている。歯並びや咬み合わせが悪いと、体に

様々なトラブルが発生する可能性が専門家からの指摘で明らかになっている。健康面では、①虫歯や歯周